

※ 参考資料

「施設一般公開・講演会」プログラム(横浜市立大学)

(1) 横浜市立大学の施設公開、研究室紹介(10:00~17:00)

- ・パネルやポスター展示による研究内容の紹介
- ・模擬実験(いろいろな色のイクラを作ってみよう他)
- ・超低温の不思議な世界
~ -196°C のマシュマロを試食してみよう!~
- ・実験機器のデモンストレーション(質量分析装置他)
- ・NMR、X線回折装置、スーパーコンピューターの公開、説明
- ・鶴見キャンパスにおける最近の研究成果の紹介



昨年的一般公開のようす

(2) 実験教室、体験型イベント

実験教室		体験型イベント	
テーマ	「ホテルの光をつくってみよう!」	「からだの不思議を調べてみよう」	クイズに答えてバイオ分子博士になろう! ~認定証がもらえるよ~
対象	小中学生(保護者同伴可)		細胞の膜タンパク質研究とシャボン玉 ~シャボン玉で遊ぼう!~
時間	1回目 11:00~12:00 2回目 14:00~15:00	1回目 12:30~13:30 2回目 15:30~16:30	どなたでも参加可 10:00~17:00(随時)
場所	2階学生実習室		2階コンピューター実習室 1階バルコニー
定員	各回 20名	各回 20名	なし
受付方法	当日1階ロビー実験教室受付窓口にて受付		直接会場にお越しください

※受付は10:00より先着順。(定員に達し次第締切)

(3) 講演会

時間 11:00~11:45
 場所 理化学研究所交流棟ホール
 講演タイトル「インフルエンザへの挑戦」
 講師 横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科
 教授 朴三用



講師 朴三用 教授

<講演内容>

人類は20世紀に入り数回の新型インフルエンザウイルスの登場を経験しています。新型インフルエンザウイルスが出現すれば、人々は当然過去にこのウイルスの感染を受けた事がないため抗体もなく、一時に新型ウイルスの感染を受ける人が多くなり、容易に大流行が起こります。高病原性である鳥インフルエンザウイルスの人への感染や2009年4月にメキシコで発生し大流行を見せた豚由来の新型インフルエンザは記憶に新しいです。幸いにタミフルなどの薬剤が有効であり弱毒性でありましたが、ウイルスの変異は頻繁に起こりうるためいつこれが強毒型に変異を遂げるかその脅威は想像に難くありません。講演では、インフルエンザウイルスの持つRNAポリメラーゼを用いた新規薬剤開発の最先端研究について紹介します。

※定員250名。直接会場にお越しください。

※その他、理化学研究所横浜研究所の講師3名が講演予定。

(4) 入試相談会

時間 10:00~17:00(随時受付) 講義棟1階講義室にて
 内容 教員と学生が横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科
 生体超分子システム科学専攻の教育研究内容について質問に回答します。



市大キャラクター『ヨッチー』